

水でたどる歴史とあゆみ

水道局が市営プールを運営



昭和7年のオリンピックロサンゼルス大会で日本水泳陣が目覚ましい活躍を見せたことにより、体育向上と健康増進のため、水道局で市営プールを設置・運営することとなりました。昭和8年7月旧東区(現千種区)に竣工の振甫^{しんぷ}プールを始め、戦前に豊田・児玉・向田・杉村・松元プールを、戦後には稲葉地・大井・港プールを開設しました。



振甫プール
(飛び込み台と50mプール)



振甫プール(昭和10年頃の夏の活況)

昭和8年9月には、振甫プールで当時椋山女学校生徒の前畑秀子さんが女子200m平泳ぎの世界記録を樹立しました。

なお、市営プールの運営は昭和39年に教育委員会へ移管されました。

名古屋市の歴代マンホールのふた

下水道100周年記念ふた

平成24年の下水道供用開始100周年を記念して造られました。名古屋市の中心部を流れる堀川にかかる「納屋橋」を、名古屋市上下水道構想「みずの架け橋」に見立ててデザインしました。市内約100カ所に設置されています。



水の歴史資料館
HISTORICAL MUSEUM OF WATERWORKS AND SEWERAGE

開館時間：午前9時30分～午後4時30分

休館日：月曜日(休日の場合は直後の平日)

5/20(水)現在、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、当面の間、臨時休館します。